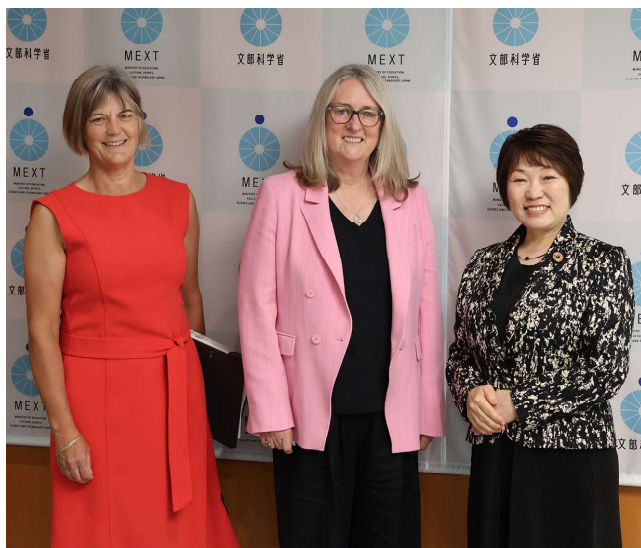




阿部大臣㊟、スミス大臣㊟、ジュリア・ロングボトム英国大使

教育分野において、英国は「ブリティッシュ・カウンシル」(英国政府により設立された公的な国際文化交流機関)等により、日本の英語教育への支援を行っているほか、日本の大学間で留学生交流が活発に行われている。表敬は冒頭のみ公開。阿部文科大臣は歓迎の挨拶の中で「貴国において、世界最大規模の教育フォーラムを2002年から政権が代わっても継続的に開催されていることに敬意を表する。今年は135カ国が参加し、日本からは藤原次官(当時)出席し、教育について活発な議論が行われたと伺っている。本日は産業人材育成や、留学生交流について意見交換させて頂ければ幸いだ」と述べた。

また、スミス技能大臣は「イギリスと日本はこの上ないパートナーの両国であり、非常に深い信頼に基づいた関係を築いている」と話すとともに「今回、私たちは教育システムにおけるあらゆるレベルにおいて理解を深めたいと考えている。午後には東京大学を訪問し、学生と会うことになっている。これからイギリスに留学する学生、かつて留学した学生もいらっしゃる。こういった草の根からの関わりが両国間の関係を深めるのに重要だと考えている。また今後は、戦略的な教育に対する対話を深めていきたい」と展望を語った。

阿部文科科学大臣

スミス英国技能大臣が表敬

英国のジャッキー・スミス技能大臣(高等教育、技能担当)が7月28日、文部科学省において阿部俊子文科大臣を表敬し、意見交換を行った。



意向表明書を掲げるイドゥリス大臣㊟と阿部大臣

機関及び研究機関間の連携強化▽特に農業や工学分野における職業教育訓練及びスキル開発の強化▽科学・技術・工学・数学(STEM)教育の推進——などとしている。

なお8月には、横浜市で第9回アフリカ開発会議(TICAD9)が開催予定。同会議に向けた連携強化のため、阿部俊子文科大臣は5月にガーナ等を訪問している。

署名式には、文科省からは阿部文科大臣が出席し、両大臣によりLOIへの署名が行われた後、懇談が行われた。

懇談では、イドゥリス大臣が「日本の文部科学省とガーナの教育省の間で、このようなアグリメントを締結できたことを喜ばしく思う。ガーナは日本から教育やテクノロジーを多く学びたいと考えており、今後も協力的な関係を築きたい」と述べ、謝意を示した。

また、阿部大臣は「文部科学省では、TICAD9に向けて、アフリカとの関係強化の検討を進めてきたが、5月のガーナ訪問の成果を踏まえ、TICAD9に先立ち署名できたことを嬉しく思う」と話すとともに「これから、高等教育や職業教育をはじめとした分野で協力を進め、定期的に政策対話等を実施しながら両国の協力関係を深化していきたい」と今後への期待を述べた。

8月のTICAD9に先立ち

阿部文科大臣、ガーナ教育省との意向表明書に署名

文部科学省は7月29日、ガーナのハルナ・イドゥリス教育大臣の表敬訪問を受けるとともに、文科省とガーナ教育省との間の意向表明書(LOI)への署名式を執り行った。

同LOIは、両国間の教育協力及び人材育成についての協力関係を更に強化することを目的としたもの。主な協力分野は▽高等教育